

harmony

— 岩手県立中部病院 地域連携便り VOL. 1 —

年頭のご挨拶

中部病院 院長 北村道彦



平成 21 年度は、統合、引っ越しの後、電子カルテ・フィルムレスシステムのもと、慌ただしく開院してスタートをきりました。PET 始め新しい機械の稼働、緩和ケア病棟の開棟などなど夢中で歩み続けました。開院早々大風で院内のケヤキが倒れたり、滑り易い構内で職員の転倒骨折が 2 件続いたり、新型インフルエンザの混乱が長期に渡るなど、予想以外の出来事も多々ありました。その中で電子カルテ導入の混乱が少ない事が本当に幸いました。

開院後 8 ヶ月を過ぎた時点の医事成績では、紹介率 60% 前後で、診療単価が高く、救急車の搬入が増え、放射線治療数や外来化学療法数の増加など、統合を契機に病院の性格が急性期型、紹介型に生まれ変わりつつあります。10 月からは待望の麻酔科常勤医の赴任もあり手術も増加しています。

この間の北上、花巻市両医師会の皆様のご支援には心から感謝いたします。特に 10 月以降のインフルエンザ蔓延時にタイムリーに対処していただいた診療時間延長や発熱外来設置には、連帯の温かみを強く感じました。また、前後しますが 7 月に当院を会場に行われた緩和ケアの医師講習会には、病院スタッフを上回る多くの開業医の先生の参加がありました。医師会の勉強会には何度も参加させていただきました。連携の固い絆を意識した 1 年でした。

本年は、3 月の病院評価機構受審、4 月の 7 : 1 看護体制下の病床フル稼働、10 名の新研修医受け入れ、7 月に予定している DPC 病院開始など、病院の土台を固めるイベントが矢継ぎ早にやってきます。地域がん診療連携拠点病院として、地域支援や連携機能の強化も進めます。

以上、中部地区全体の保健、医療、福祉に目を配り、住民の目線を意識しながら、医療連携とチーム医療を軸に、基幹病院としての責任を全うすべく更に努力いたします。今年も一層宜しく願いいたします。



中部病院NEWS

当院は開院以来、岩手県中部圏域の基幹病院として機能するために様々な取組をしております。ここでは、院内の様子や活動等を随時紹介していきます。

今回は北上病院にて承認を受け、中部病院にて引き続き指定更新を受けた「地域がん診療連携拠点病院」としての取組から「がん情報サロン」と「リンパ浮腫外来」を紹介いたします。

わが国のがん対策については、平成16年から開始された「第三次対がん10ヵ年総合戦略」において、全国どこでも質の高いがん医療を受けることができるように、がん医療の「均てん化」を図ることを戦略目標として掲げられました。その戦略の一つが、診療連携体制による地域がん診療の質的向上です。各都道府県にひとつ「がん診療連携拠点病院（岩手県の場合は岩手医大）」を置き、二次医療圏に概ね1ヶ所程度の「地域がん診療連携拠点病院」を置いて連携体制を充実させることとなり、当院もその1拠点として認可されております。



患者さんと御家族の皆様へ

がん療養支援・緩和ケア部からのお知らせ

県立中部病院は、岩手県中部地域の地域がん診療連携拠点病院として、がんの診断、治療（手術・放射線・化学療法など）の充実を図りながら、がんになっても安心して治療や生活ができるように、がんに関する相談支援を行っています。

1. がん情報サロン(1階 ロビー正面)

がんに関するパンフレットや図書、インターネットによる情報の検索が出来ます。相談ボランティアによる相談、サポートも行います。

2. がん相談支援室(がん情報サロン 裏)

がんに関する相談の窓口です。ソーシャルワーカーと看護師がお話を伺います。

3. リンパ浮腫外来

リンパマッサージや自己マッサージ指導などを行い、症状の緩和のお手伝いをいたします。

4. ペインクリニック

がんだけでなく、お薬で取りにくい痛みについて専門の医師が治療を行います。

5. 緩和ケア外来

外来に通院している方の、がんの痛みやつらい症状の緩和、心のつらさへの支援を行います。

6. 緩和ケアチーム

一般病棟に入院中のがん患者さんと御家族を、医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士など様々なスタッフがチームを組んで支えます。

7. 緩和ケア病棟

がんによる体と心のつらさを和らげ、普段の生活を取り戻していただくために、痛みの治療や様々なケアを行います。

※ 体の痛み、気持ちのつらさ、生活のこと・・・困っていることを何でも御相談ください。
上記へのお問い合わせは、外来、病棟スタッフ、またはがん相談支援室に御相談下さい。

岩手県立中部病院

北上市村崎野 17-10

TEL 0197-71-1511

がん療養支援・緩和ケア部運営委員会

中部病院の開設と共に設置され、7月に1階正面ロビーに本格オープンした「がん情報サロン」の案内です。

「がん情報サロン」は当院にかかっている方だけではなく、地域の皆さんが自主的に「がん」に関する情報を得る場所、「がん」について臆せずに話し、語り合い、聞いてもらうことの出来る空間として、地域の住民の皆さんを支援することを目的にしております。

岩手県立中部病院がん情報サロン「虹」

がん情報サロン「虹」ってどんな場所??

⇒ **がんに関する様々な情報が集められる場所**です。

例えば・・・

- がんの種類、治療法に関するパンフレット
- 治療、お薬に関する最新情報
- がん体験者本
- がんについて学べるDVD
- 詳しい情報収集のためのネット検索用パソコン

その他にあなたが今抱えている悩み、お気持ちを
ボランティアとお話することもできます。

例えば・・・



場所・・・中部病院内1F「がん情報サロン」（総合受付の近く）

時間・・・9～17時（10～14時は下表ボランティア在中）

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
奥山明子 (臨床相談員)	工藤美佐子 (看護師)	高橋みよ子 (がん患者会)	羽岡洋輔 (薬剤師)	生島陽子 (牧師)



お立ち寄りください

中部病院 がん相談支援室 (TEL: 0197-71-1511) まで



中部病院リンパ浮腫外来の紹介

主任看護師兼主任助産師 菊池 知

リンパ浮腫の患者さんは全国で12万人以上（国際リンパ学会より）いると言われており、早期に適切なケアを受けることで浮腫の悪化・合併症の予防を図ることができます。

昨年、日本医療リンパドレナージ協会研修を受講しリンパ浮腫治療セラピストの資格を取得、昨年8月旧北上病院にリンパ浮腫外来を開設しました。県立病院では最初にできた外来です。4月に中部病院に移転後は緩和ケア外来において、がんによるリンパ浮腫患者さんのQOL向上、支援を目的に運営しています。



リンパ浮腫治療の目的は

- ① リンパ浮腫が軽減し体液環境の改善を図る
 - ② 運動制限が改善され日常生活運動がしやすくなる
 - ③ 皮膚状態が改善され炎症が減少し、発症の際も軽度にて治療することができる
 - ④ 身体的・精神的苦痛の緩和
 - ⑤ 日常生活機能の向上が図られる
- などが挙げられます。



中部病院リンパ浮腫外来は毎週月曜午後1名、水曜日3名の予約制になっています。ケアの内容は、

- ① 問診・計測・皮膚状態観察
 - ② 医師による診察
 - ③ 徒手によるリンパマッサージ
 - ④ 日常生活やスキンケア・セルフマッサージの指導、トラブル時対処法について、スリーブ装着方法を説明後、バンテージ法による治療
- その他に、リンパ浮腫患者さんの電話相談や入院患者さんの手術前後のリンパ浮腫管理指導等を行っています。

患者さんからは「腫れてどうしたらいいかわからないで悩んでいました。」「マッサージ後は軽くなりすっきりしました。」などの感想が聞かれています。また、がんの告知を受けた時の思いや心のつらさ、今までの自分の人生について話す患者さんもいます。リンパ浮腫外来ではリンパ浮腫の軽減のみならず、心理的な支えのお手伝いもできたらと思いケアに当たっています。

中部病院では今年、リンパ浮腫治療セラピストが5名となりました。これからは緩和ケアチームや病棟スタッフと連携を図りながら、リンパ浮腫で悩んでいる多くの患者さんのケアのお手伝いできればと思います。

リンパ浮腫外来は保険給付外であり、1回6,300円となっております。

また外来で診る患者さんの数が限られており、ご紹介を頂く際、ご希望日に添えない場合があることを予め患者さんへお伝え願います。



岩手県立中部病院 地域医療連携室

〒024-8507

岩手県北上市村崎野17番10号

TEL 0197-71-1511

FAX 0197-71-1881（地域医療連携室専用）

URL <http://www.chubu-hp.com/>